



長産支第278号の2  
令和5年10月3日

長岡商工会議所  
会 頭 大 原 興 人 様

長岡市長 磯田 達伸

長岡市政に対する要望について（回答）

日頃より、経済対策に御尽力いただくとともに、市政に対して多大なる御協力と御理解をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、貴商工会議所から御提出いただいた、令和5年9月1日付け要望書につきまして、別紙のとおり回答いたします。

原油価格や物価の高騰による経済環境の悪化は当面続くものと想像されますが、貴商工会議所、長岡市、4大学1高専、金融機関が一体となり、持続可能な地域産業の創出、地域経済の成長につながる新しい価値の創造、長岡の未来を創造する人づくりを目指してまいります。

また、これに伴う施策展開について、先達てオープンした「ミライエ長岡」を拠点とし進め、様々なビジネスチャンス及びまちなかの賑わい創出に繋げてまいりたいと考えております。

担当：長岡市 商工部 産業支援課  
長岡市大手通2-6 フェニクス大手イースト  
長岡市役所大手通庁舎6階  
電話 0258-36-2222 / FAX 0258-36-7385  
E-Mail syougyo@city.nagaoka.lg.jp



令和5年10月3日

## 回 答 書

### 1. 人手不足・人材確保に向けた支援策の拡充と若者の地元定着の促進

- ・長岡市と商工会議所の各委員会との意見交換からも、人手不足や人材不足による事業継続が困難という意見が数多く出ており、本市の「長岡版総合戦略」の着実な推進とともに、産学官金労言の総力を結集した雇用対策が喫緊の課題だと考えております。
- ・奨学金返還支援制度は、若者の地方定着を促進する手段の一つであると認識しております。自治体が行う支援方法としては、直接補助と企業に対して補助するケースとがあり、他市の事例やその効果を調査するなど、今後も制度の研究を進めてまいります。また、全国的に企業の利用が急増している日本学生支援機構の「代理返還制度」については、市のホームページで制度の周知徹底を図るほか、あらゆる機会を通じて活用を促進します。
- ・女性やシニア層の登用については、働き方改革相談員による企業への個別コンサルティングや勉強会を通じて、企業活動に対する多様な人材の活躍の重要性を伝えていくほか、誰もが働きやすい魅力的な市内企業を紹介した事例集「働き方の未来2023 輝く人材企業BOOK」を「ながおか働き方応援プロジェクト」の賛同企業に配布しております。
- ・外国人材の活用についても、アドバイザーによる企業への受入体制整備への伴走型支援に加え、4大学1高専の留学生や、モンゴル高専、ベトナム・インド・キルギスといった国々の学生のインターンシップの促進を通じて、外国人材の市内企業への就業と定着を図ってまいります。
- ・今年9月からデジタル技術を活用して、市内企業の単日・短時間勤務の求人を集約し、求職者と簡易にマッチングするシステム「ながおかマッチボックス」を導入しました。学生のキャリア形成と地元企業への採用、職場体験による離職防止を目指す「キャリア体験」の仕組みも導入するなど、若者が働きやすい職場環境の整備を支援してまいります。
- ・情報発信につきましては、現在、市外の20代から40代を主なターゲットに、WEBサイト「な！ナガオカ」や、移住定住ポータルサイト「長岡のはじめ方」に加え、若者・しごと機構のメーリングリストを活用して行っております。また、首都圏等でのPRイベントのほか、近隣の市とタッグを組んで広域的な移住定住や魅力をPRする新たな取組も行い、長岡の魅力も知ってもらえるように努めております。こうした活動を継続して行うことで、本市の認知度・好感度の向上、移住・定住人口及び交流人口の拡大を図ってまいります。

## 2. 中心市街地のにぎわい創出による交流人口の拡大と長岡地域の魅力発信

- ・本市の顔である、中心市街地の魅力や活力を高め、賑わいを創出することが、市全体の発展につながるものと考えており、これまで進めてきたまちなか型公共サービスの展開を契機に、様々な人が集い、新たな活動や交流を生み出す取組を、公民が一体となって推進していく必要があると認識しております。
- ・市域全体の地域資源を中心市街地でも体感できるように、アオーレ長岡をはじめ、まちなかキャンパス、米百俵プレイス ミライエ長岡などの「場」を有効に活用して、魅力を広く発信していく必要があります。
- ・来街者の回遊性を高めるため、まちなかで開催されるイベント情報等をわかりやすく案内する「デジタルサイネージ」による案内誘導サインの設置に向け、検討を進めてまいります。
- ・貴商工会議所や中心市街地活性化協議会と連携し、若者、商店街、NPOなどが行う賑わいにつながる空間活用や、イベント開催について、引き続き支援してまいります。
- ・観光案内看板の多言語化への対応は、更新時や新設時に、英語表記を導入しております。また、インバウンドの誘客促進を目的に、QRコードを活用した15言語に対応する多言語観光解説を、市内23か所の観光施設や案内看板に設置し、文字や音声による多言語の解説提供を行っております。
- ・公共施設の通信インフラの整備では、施設利用者の利便性向上を図るため、Wi-Fi（公衆無線LAN）の整備を進めているところです。今後も、利用状況やニーズ等を見極めながら、一層の充実に向け検討してまいります。
- ・本年3月、市は「長岡市産業協創条例」を制定、研究者・企業人・起業家等の多様な人材の交流により地域の産業を次世代に繋げるための新しい価値創造、即ち「産業協創」を目指しております。イノベーションを起こす拠点として、ミライエ長岡に「イノベーションサロン」「ギャラリーラボ」「コラボレーションオフィス」等の施設を設置しました。ここから、商工会議所、市、金融機関、4大学1高専が一体となった産学連携や企業間連携、起業創業支援の取り組みに加え、新技術の研究・製品開発及び産業支援に関する情報発信等に係る様々な施策を展開することにより、「産業協創」の推進を図ってまいります。
- ・引き続き、市と内閣府、東京大学CREIとの研究連携協定に基づき、日本初の「イノベーション地区」創設を目指して、長岡をフィールドに調査・研究に取り組んでまいります。世界中から集まる人材との交流やコラボレーションを通して、様々なイノベーションが生まれるまちづくりを進めていきます。

### 3. 米百俵プレイス東館の備品等購入に伴う地元優先発注

- ・令和7年度に完成予定の東館を含めたミライエ長岡は、本市の産業全体を総がかりで支援する「産業連携・協働拠点」と位置付けております。貴商工会議所をはじめとした産業支援関係機関との連携を一層強化し、新たなぎわいの創出や人づくり、産業振興を図ってまいります。
- ・長岡市における物品購入等につきましては、地元企業を支援する観点から、公正の確保と物品の調達状況を考慮した上で、可能な限り、地元企業の受注機会に配慮した発注を行っております。米百俵プレイス東館に入居する市役所機関に係る物品購入等につきましても、これまでと同様に地元企業の受注機会に配慮した発注を行ってまいります。
- ・東館に入居する関係機関への働きかけにつきましては、貴商工会議所と連携し、実施してまいりたいと考えております。